

一年の締め「仕事納め式」



平成二十四年十二月二十八日(金)に「仕事納め式」が行われました。式の前に各部署で年末の清掃や年始の準備等が急ピッチで進められていました。

「仕事納め式」では平成二十四年度の総括や来年度の日程等が報告されました。式の後には社員全員で一本締めで今年を締めくくりました。

一年最初を彩る「初荷式」



平成二十五年度の幕開けにふさわしく金秀アルミ工業でも初荷式が行われました。

あいにくの雨模様ではありましたが、数多くの社員が参加し、今年の安全を祈願し、初出荷の形材を乗せたトラックを盛大に送り出しました。

金秀アルミのサッシを多くの方にお届けできるよう社員一丸となって頑張っていくべきです。

平成二十五年 金秀グループ成人式・新年会開催

今年も待ちに待った金秀グループ新年会の日がやってきました。

平成二十五年一月十一日(金)、エリスリーナ西原ヒルズガーデンにて金秀グループの成人式及び新年会が執り行われました。



◎新成人
軽金事業部 山城賢人
鋼建工事事業部 外間章也
鳩間太志



今年グループでは、十名が成人を迎え、呉屋会長をはじめ、各社長及び各管理部長が見守る中、成人式が行われました。

成人を記念し、呉屋会長より記念品が贈呈され、緊張した面持ちで受け取っていました。当人も三人が「大人の仲間入り」をしました。



いよいよ、古典音楽愛好会による演奏で新年会の幕開け、そして新成人よ「抱負」発表が行われました。

新成人はそれぞれ緊張した面持ちでしたが、大勢のグループ社員の前で堂々と発表していました。

毎年恒例の福引も楽しみの一ですが、今回はさらに2大イベントがありました。

それは、グループ営業企画委員会による「金秀グループキャッチコピー」の発表と金秀シニアオープンツアーの鏡開きです。

「金秀グループキャッチコピー」は創業六十五周年を記念し、社員より応募を募り、今回の発表となりました。

数多くの作品の中から上位十一作品が選考され、審査の結果、金秀バイオ・仲村恵さんの作品「つなぐ心、つむぐ未来、金秀グループ」が最優秀作品に選ばれました。

惜しくも優秀作品にならなかったのが、軽金事業部の西野慶次さんの「暮らしによりそう企業をめざして」でした。

また第六回金秀シニアオープンがPGAのシニアツアーを受け、大会の成功を祈願し、呉屋会長をはじめ、グループ各社長などによる鏡開きも行われました。

金秀グループ社員が一同に会する中、楽しく進んでいき、福引大会の際は、自分の番号を見ながら、一喜一憂する姿が会場のあちらこちらで見られました。



西野さんは「暮らしの中に金秀の製品があったらいいなあ」と思っている。このキャッチコピーを考えた。表彰を受けられるとは思っていませんでした」と受賞の喜びを噛みしめていました。



軽金事業部・新木さぐが金秀バイオ賞をゲット!

金秀アルミ工業(株)会報誌

新春号(第二号)



平成二十五年二月発行

ネーミング募集中



新春の御挨拶



社長 守章 呉屋 秀和会の会員企業の皆様、並びにご家族の皆様、新年明けましておめでと。う御座います。

旧年中、皆様には大変お世話になりました。誠に有難うございました。

さて、金秀アルミ工業として、昨年は「県内唯一! サッシ形材製造」を合言葉に、沖縄県工業連合会の活動である「県産品奨励月間」や「沖縄の産業まつり」等で積極的な取り組みをして参りました。本年も引き続き同様な方針で営業活動を展開することです。弊社のアルミ形材の販売に努力致したく存じます。そのことで、秀和会の営業に少しでもお役に立てるよう金秀アルミ工業(株)の全役員で汗を流して参ります。また、企業経営や諸営業情報の交換について、弊社と皆様とのコミュニケーションのあり方についても更に検討が必要かと思っております。

えつつ改善に努めて参ります。

結び、秀和会の皆様の益々のご発展となる良い年となりましますことをご祈念申し上げます。どうぞ本年も宜しくお願い致します。

平成二十五年秀和会新年会

平成二十五年一月二十五日(金)

年が明け、まもなく一カ月が経とうとしております。沖縄北部では「日本一早い桜まつり」が開催される中、エリスリーナ西原ヒルズガーデンでは「平成二十五年秀和会新年会」が開催されました。

司会進行の崎山渉太郎さんが場を和ませ、大倉サッシ・山城勉様の開会の挨拶で新年会がスタートしました。



この日ばかりは、各会員の皆さん、様々な話で盛り上がり、いきました。中にはお子様と一緒に参加されている会員の方もいらっしゃいました。



楽しい時間はあっという間にすぎ、第一アルミ建材・金城隆紀様の閉会の挨拶で終了致しました。

今回、初参加の呉屋社長は「新年会へご参加頂き、有難うございました。皆さまから貴重なお話を聞くことが出来、交流を持てた事に感謝いたします。」と感想を述べていました。

プログラムが進み、福引大会になる皆さん、賞品の数々に驚きと内容に歓声が沸きあがっていました。

中には大きな賞品を受け取り、笑顔で包みを開けている姿も会場内で見受けられました。

お知らせ

会報誌ネーミング募集をします。

事務所一階タイムカード置場並びに管理本部に募集箱を設置致しました。

一人何件でも応募は可能です。

応募締切は二月二十八日(木)までです。

皆さんの応募、お待ちしております。

尚、発表は四月以降を予定しています。

編集局より

いよいよ新春号(第二号)は発行となりました。前回は掲載出来なかった「沖縄の産業まつり」の特集ページを設けています。今回は二ヶ月にわたる発行となり、引き続きの発行となります。次回の発行は五月を予定していますので、楽しみにして下さい。

【編集局・城間久美子】



特集：「第36回沖縄の産業まつり」出展と報告会に密着！！

平成二十四年十月二十六日(金)から二十八日(日)までの三日間、那覇市の奥武山公園にて沖縄県工業連合会主催の「第36回沖縄の産業まつり」が開催されました。当社も第四ブースにて出展する事になりました。そこでその模様を密着取材をしてきました。

三日間、天気にも恵まれ、多くの方が来場されました。また、三ヶ所に広告を設置致しました。特に目立ったのが「明治橋のアーチ」(①)でした。交通量の多い五十八号線に面している事もあり、宣伝効果もバツチリでした。



①58号線明治橋側アーチ

ブースを出展した総合案内所(②)と第四会場(③)の近くにも広告を設置致しました。



②総合案内所付近



③第4会場付近

盛大な開会式の中、当社のブースでは入社事前研修も行われました。平成二十五年新卒者の「山城健一」さんと「上原正斗」さんの2名がブーススタッフとして期間中参加してくれました。



炎天下の中、黙々と作業 ※パンフレット配布準備中

二人の作業中にお邪魔し、取材をしました。

【今回の研修内容は、】
山城「ブースに来るお客様への対応と会場内でのパンフレット配布等です。」
「大変な事は何ですか。」
上原「来場者の対応ですがね。まだ入社前なので分からない事がたくさんあるんですが、周りの先輩方に色々と教えてもらいながら頑張ってます。」
山城「そうですね、パンフレット配布も大変ですが、他社の出展ブース等も見学し、作業効率の工夫の勉強にもなっています。」



取材協力ありがとうございました。

今回は「お客様相談コーナー」を設けた事もあり、三日間で延べ五百七名の方がブースに来場、商談成立件数は二十三件となり、大成功でした。営業部ではお客様への対応に万全をお願い致します。

この後、今回の「産業まつり・社内報告会」が開催されました。



⇒ 報告を受け、議論中

報告会では、今回の「産業まつり」への取組みや「今後の計画」等についての意見交換されました。

今回、研修に参加した山城さんたちも参加し、発表して頂きました。また、報告会の後には、懇親会を開かれました。

懇親会では、和気あいあいしつつ、今後の展開等を各テーブルでそれぞれが熱く語りあっていました。

たくさんの方の意見、ありがとうございました。今後の活動に活かしていきたいと思えます。

【編集局・城間久美子】



スタッフの皆さん、お疲れ様でした！

沖縄県議会・経済労働委員会工場視察

平成二十四年十一月二十二日(木)に県議会経済労働委員十二名の方が工場視察で来訪されました。

当社は今年度から「県内唯一！サッシ形材製造」を合言葉に「県産品奨励月間」や「沖縄の産業まつり」で活動してきました。少しずつではありますが、県民の皆様へ浸透しつつある中、「もつと金秀アルミの事を知ってもらおうにはどうすればいいか。」と思案中の所、偶然にも視察をして頂ける事となりました。



工場視察前に会社概要等の説明 (説明者：比嘉常務)

工場視察前には、軽金事業部の比嘉常務より会社概要の説明等が行われました。様々な質疑応答の中では、県産品形材の使用状況など、県産品形材使用を訴える場面もありました。



今回、押出工程からアルミト処理工程等を中心に視察して頂きました。視察中にもたくさん質疑があり、各説明者が一つ一つ丁寧に答えていました。そのおかげで委員の方々も深く感銘を受け、金秀アルミ工業と他社との違いを理解してもらったと思います。

当日、対応して頂いたスタッフの皆さんのおかげで、視察も無事終了しました。ありがとうございました。



↑パネルやダイスを展示 ↓



会場内には施工実績や製造工程、ダイス等を展示しました。特にダイスはなかなか間近で見ることが出来ないもので、委員の方々も興味深げに説明に耳を傾けていました。

共済会主催の大忘年会開催



↑ピアノ演奏中の中山次長

平成二十四年も残りわずかとなった十二月二十七日(木)に共済会主催忘年会がエリスリーナ西原ヒルガーデンで開催されました。なんと会社全体での開催は十数年ぶりの事！

今回は共済会メンバーが中心となり、福引や演奏会等が行われました。

ウエルカム演奏では管理本部の中山次長が所属するバンド「ホーンカーズ」の皆さんが華やかに開始の幕開けを飾って頂きました。

特に驚いたのが中山次長の演奏姿！

仕事をしている姿とは違い、水を得た魚のようにイキイキと演奏していました(笑)。



司会は岸本真紀子さん



役員からのサプライズ賞品！！



なぜかポークも贈呈

また、役員方からサプライズ抽選会が急きよ、開催！これには皆さんも驚きの様子でした。

楽しい時間を共有した事でさらに団結力を増したように思いました。来年も社員一丸となって頑張っていきたいと思います。共済会の皆さん、お疲れ様でした。



共済会・会長の金城清一郎さんの挨拶や顧問の呉屋社長の挨拶後、おいしい食事をしながら、楽しく談笑していました。福引の時には皆さん、食べていた箸を置いて、賞品の内容が発表されるごとに大きな歓声が出るほどでした。